
佐井田さんと香谷くんの一週間

にー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

佐井田さんと香谷くんの一週間

【Nコード】

N6634M

【作者名】

にー

【あらすじ】

佐井田さんと香谷くんのおかしな学園、半共同生活を描きます。が、現在ほぼ佐井田^{さいだめん}杏の妄想、暴走で話が展開しています。全5話完結予定でしたが、まだまだ続いています、、、。「金曜日」で完結予定です（焦）。

月曜日

「ええ?!」

小雨の降る月曜の出来事だった。

「マジごめん、佐井田さん。、、、今日、帰れる?」

「う、うん、大丈夫よ、バスで帰れるから、。」

でも、もう絶対勝手に使わないでよね!!!!」

しゅぼんと肩を落としている彼を目の前にそんなに強くは言えない。香谷くんはたまたまあった私の自転車を昼休みに拝借して、しかも電柱にぶつこんで、前輪をまるごと壊してしまっただらしい。ありえない。

というか、

困った。

明日の朝はバスでこなくちゃならない。

バスがあ、、、。

帰るときは時間を合わせればいいものの、田舎の私のうちはバスは一時間に一本しかない。

、、、明日は4時起きだわ、、、。

今度は私が弱っているのに彼が気づいたのだろうか。じっと見られている気がして、私は顔を上げた。

「佐井田さん、」

「ん？」

「うちに泊まる？」

眼が点になった。

はい？

「自転車直るまで。佐井田さんち遠いんですよ。うち、俺以外誰もいないし。」

切れ長の二重の眼が私をのぞきこむ。

いやいや、

そーゆう問題じゃあないでしょ。

私、

香谷君のみようじしか知らなかったし。

今日初めて、クラスが7組だと知ったし。

しかもあたし

一応

おんななんだけど。

「大丈夫だよ。」

ひきつるようにして見上げたわたしに香谷君は、

「俺んちの別宅の、祖母んとこ、使いなよ。」と続けた。

、、、ちよつと、ちよつとだけど、考えを飛ばしてしまった自分が、
はずい。

そーいうことは先に言っただけね。

でもだからって、、、、。

「、だからって、、！」

私を置いて、香谷くんはすたすたと先を歩いていく。

おい！

「ちよつと、！香谷君っ！！」

振り返って、にっこりわらって、

「こつちだよ」

っっておおーいっ！！！！

ついてしまった。

ついてきてしまった。

正確に言つと、彼の足が速すぎて、追いつけなかった。

なんとなく、他の子に気づかれなくて、

「ちょっと、「まってよ!」と小声で叫びながら、追っていたのだが、、、、、。

追いつけない。

負けじとだんだんと歩く速度を上げたが、

速い、、、!

最後は全力疾走だった。

まあ、50mを9秒台しか出せない私が、スポーツ万能と思われそうなひよろつと足の長い彼に追いつけるわけがない。

この人だって、帰宅生のくせに!

、、間違いないのは、

私は絶対香谷君にかかわれている。

まちがいなく、おもしろがられている。

今日の、

どの時点からか、は分からないが、確実に彼は私をそう認識している。

、いや、すでに自転車を拝借した時点でうすうす気づいていたのか
もしれない。

ねえ、おもしろい？とすんごいにらみを利かせて、聞いてやること
思ったのだが、

ぐうぐう~~~~

、鳴った。

わたしのおなか。

「まずはごはん食べよっか。」
彼はにこやかに私に振り返る。

「顔真っ赤だよ。」
彼が家の中へするりと入っていく。

！
いまぜったいわらってた！

わたしは自分のあまりの不具合に、親指と人差し指で、わき腹をぐ
いっとなつねった。

あたしはひどくいらついた。

そしてリビングのソファの真ん中にどっかと身を据えていた。

彼から一番最初にここに案内されてから、一度も、一歩も、動いて

いない。

彼が、キッチンではたばたやっているのも、

「今日はなににしようか」「トマトかな、」などと言っているのにも耳を貸さず、

ただただ押し黙っていた。

はたかれ見れば、えらく無礼な客人にみえるだろう。

それでも、わたしは座りつづけた。

彼が私の自転車を壊したからよ！だからここ座ってるの！と。

しかし、

ついてきたのはあなたなのに？

おなかがすいているのはあなたなのに？

目の前にあるバーニーちゃんがしゃべったような気がして、私は彼女の顔をこぶしでなぐった。

そんな押し問答を繰り返すうちに、

「はい、できたよー」

、、、、、。

香谷君の声が聞こえる。

「できたよ」

ん？

「おはよう、佐井田さん」彼の綺麗な顔が目の前に、
ある。

がばあっと身を起こす。

彼と頭をぶつけなかったのが奇跡のようだ。

、、、、、

まさか、

まさかまさかまさか？！

「ごめん」

さすがの私も体裁が悪くて、身体から素直に言葉が出た。

「、寝てた、」

同時に身体から火を噴きそうだ。

「疲れてるんだね。ご飯食べてからゆっくりしなよ。」

香谷くんにつながされるまま、テーブルに着く。もはや何も言えない。

「!」

私は目を見開いた。

ごはんにおくらの味噌汁に、トマトと鶏肉の煮込み、あとタコとキウリの酢の物と、おつけもの。

すごく一般的な家庭料理だ。

こんなの作れるなんて。

あたしよりすごい。

「どうぞ、召し上がれ」

「、、いただきます。」

おいしい。

お味噌汁はダシがきいているし、鶏肉はとても柔らかい。キウリは甘さが絶妙だし、漬け物だってこのままパクパクいけてしまう。

ひとつおり食したところで、彼が私をじっと見ているのに気がついた。

いけない。

寝ぼけて食欲に任せてもくもくと食べてしまった。

「おいしい、」

まだ口をもごもごさせながら、私はつぶやいた。

「気にいった？それ粕漬けっていうんだ。」

ああー、そうじゃないよ、香谷くん。

慌てて、首を振る。

「そうじゃなくって、」

クエスチョンになっている彼に続ける。

こういう時だけは少年の顔をするんだなあ。

「全部、

全部おいしい。」

彼の白い頬に朱が差す。「香谷くんって料理上手いんだね。」

思わず、私の口元も上がる。

「よかった。」

香谷くんも笑う。

なんか、変なの。

なのに、

思わずふたりに笑いあった。

「ねえ、ほんとにいいの?」「いいって。」「のやり門答を繰り返すうちに、だんだんと日も落ち、夜になる。

彼の両親も祖母も旅行中。

あたしは元々祖母と二人暮らしな上、今は祖母は一週間親戚んちに泊まっているから誰もいない。
なんたる偶然。

食事と後片付けも終わったので、香谷君に案内され、おばあちゃん宅のほうの通路へ向かう。

あ!

しまった。

制服はいいけど、他は何にもない。歯ブラシもないし、シャンプーもないし、リンスない。その他、もろもろ、のも。

明日の生物?の教科書もない。

しかも明日小テストだ。

やっぱり帰れば、。

今日何度考えただろう。

後ろのあたしの動揺に彼は気づいたようだった。

が、すぐぼんつと合点のポーズをして、自分の部屋の中へ入り、あちこちがさごそし始めた。

一瞬、いや、一時、ぽかんとしていた私にぽぽいっというんなものを投げ渡す。

使い捨ての歯ブラシやら、リンスやら、タオルやら、を。

これでい？と渡されたのは、彼の黒いTシャツ2枚。

あとこれもいちお、といっけてリセツシユ緑茶の香り。「んじゃおやすみ」といって彼は自分ちのほうへ歩いていってしまった。

火曜日午前

5時40分。

いつもどおりに起床したわね、、私。

と思いつつ、昨日は、いや正確には今日何時に寝たのだろう、、。
なんだかんだいって3時40分という時間を時計で見たのは覚えて
るから。。。

結局2時間しかまともに寝れてない。

はあああああ。

なにやってんだろ、あたし。

結局あの後こちらの別宅は自由に使っていていいと言われ、

お風呂に入って、ささっとソファで寝てしまおうとしたのだが、

ねれない。

自転車が気になるからだとか、
新築の家のにおいがするからだとか、
明日の生物が気になるからだとか、
ではない。

自分の今の状況を客観的に考えてみたらだとか、この黒いＴシャツ
がおっきいからだとか、
なんだか違うにおいがするからだとか、
結局寝返りを打ったび起きてリッセツシュで夜あらいだからだ、
とかじゃ
決してない。

、、、、。

あたしやっぱ、
ばかなんじゃないだろうか。

、、、、。

とりあえず、起きて学校へいかなきゃ。

、、、、 自転車どこに修理に出したんだろう。

とか考えながらＴシャツを脱いで着替える。

、、幸い、この季節だからブラは体育の着替えのために1着持っている。

とりあえず、早く香谷くんに聞いて、

はやくでなきゃ。

香谷君の棟のリビングに出る。

「あれ、、？」「メモ書きがある。

「先に行ってます。朝めしは冷蔵庫にあるので、食べて、鍵閉めて、出てきてください。」

ぶっ

香谷くんって、、

おかあさんみたい。

ひとりでわらってしまった。

はて？

んいやまてよ、、、

ってことは、

これ（鍵）6組まで返しにいかなくてはいけない。

キンコーンカーンコーン。

「杏ー！食べよー！」
いけないっ。

「あぁごめんわたし、」

ええっと、、。。

「図書室行かなきゃ。」

案の定、変な顔をされる。

「あんた本嫌いじゃなかったけ。」

うっ。

あつ、

そうだ！

「あたし生物の教科書忘れちゃってさあ。」「なるほど。」

「んじゃあ、成美たちと食べてるー。」

「うん、じゃあまた後で。」

あたしは走る。6組へと。

「え、で、なんで図書室？」

友達の声を後ろ手にききながら。

着いた。6組。

幸い、クラスには中学校からの友達がいる。

「さなえ、！」

入り口から4席ほど離れたところで友達とパンをほうばっている早苗に声をかける。

「（もごもご）あつー杏！、どうしたん、昨日？」

「え？」

「昨日2組に行ったのに先帰ったでしょ。」

「忘れてた。」

「普通忘れんでしょ、一緒帰る友達くらい。」

「どした？なんかあったの？」

「あー、生物忘れた」

「杏にしては珍しいわね。」

「でもそれは今日のことですよ。」

、、やばあーっ！

確かに昨日は変だった。

変すぎて

他人についていちゃったし、

その人の家まであがりこんじゃったし、

ご飯もいただいたっちゃったし、

しかも泊まっちゃったし！

しかもしかもソファで寝ちゃった上に服も借りたし、（しかも朝こ

飯も食べてきちゃった）！

ぎゃーっ！

いやいやもとは言えばあいつが自転車をぶっ壊したせいだし！

「、、、、、。」

杏、大丈夫？？さつきから青ざめたり、にやにやしたり、怒ったり、

、変な顔の私の返答を待たずに早苗は続ける。

「とりあえず

教科書はないよ。」

きゃーっ！

「あつまた青ざめた。」早苗がにやりと笑う。

「わたしあるよ。」

早苗のクラスの友達と思しき人が言う。

「あつ、！良かったら貸して下さい〜！」

「うん、ちよっと待ってて。」

ほ。

とりあえず、教科書は確保できた。

で、なんでわざわざわたしこっちの棟まで来たんだっけ???????

ぎゃーーーーー(思い出した)!

ん?

あたしは見上げた。視線を感じて。

香谷くんだ!

あちらの入口に香谷くんがいた。

鍵、返さないと!!

て、

、んん?

てかあたし、

睨まれてない?

えーっ!

香谷君なんか怒ってる????

「杏、、、やつぱ杏、まだ青いよ。ほんっと大丈夫???」
今度こそ本気で心配そうな顔で早苗が聞く。

「うん、だいじょぶ、、」
ううん、

だいじょぶじゃない。
、、

なんで、???

なんでかたにくんはおこってるの?!

「はい、これ。」

「あっありがとう」

じゃあ、杏また後でくるのよ。、うん。木曜までないからすぐじゃなくて大丈夫だよ。、うん。そうだったけ? そうだよ(笑) じゃあまたね杏、バイバイ。杏ちゃん、バイバイ。、うん、バイバイ。

って

なんでーーっ?!?!?!???

火曜日5時限目生物、6時限目体育(準備体操中)

「じゃあ、はじめぞー」

なんでなんで香谷君はおこってるのよ?!

りゆう

1、あたしが6組に来たから(これは間違いない!)

かんがえうるりゆう

やじるし

2、あたしが近づいて、「きのうは泊めてくれてありがとう(はーと)

」なんて馬鹿な発言をしたらモテメンとしては困るから、。(あた

しは、んなおんなじゃない!!!

てかそんなこと彼女が知ったら、、、まずすぎ!!!てか彼女

くらいいるよね?!)

3、以下同文、、、

高校生として困るから。(まずいつて!!停学?退学?!つて、

あたしはそんなおんなじゃないっ!!!、つて知り合つて間もないか

らわかんないか、)

2、メモ書きは実は家族宛てであたしが勝つてに朝ご飯食べて鍵ま

で取つちやつたから(でも今は家族旅行じゃなかったけ??弟か妹

はいるのかも?!?)

3、ああほんとはもっともつと前からで、

ほんとは家なんか上がらせたくなかった、

それが今日のどの時点かで気が180度変わったから(てかあたし

不法侵入になる!?!なるよね?!?)

4、単にあの顔が常。

(もしくは苛ついてて八つ当たりされただけ、

はた迷惑。

、、、、、、、、、、

だったらいいのにーっ！ーっ！

ああそれかこのA×Oのように以上のりゆうの掛けあわせかも、
いでんいでん、っど。

いやーっ！ーっ！ーっ！ーっ！

とりあえずこの鍵を本人に直接に会わず、かつ誰にも知られず返す
方法は、、、、、、。

「佐井田。」

「はいいい、せんせい！」
ばたんっ！
今、なんか、
声変だった、
きがする、
ような？！

ってノートみられてないよねー！ー！ー！ー！ー！ー！ー！ー！ー！ー！
？？？？

見てないよね、ね、かたやませんせい???

って先生のはなげがみえる。

「教科書忘れたのか?」

はい?いえ、ここにちゃんとありますよ、忘れてなんかいませんよ?

「それともお前の名前は田中佳代か?」

ひいやあああ—————!!!

田中さん、ちゃんと教科書の後ろにおなまえをかいております。

「、、、、すみません。」

「こんどは忘れるなよ。」

「はい、すみません。」

「で、この問題の答えだが、、、、」「ええい、まちがえてもかまわん!

聞いてなかった(と思われる)よりまし!

「えっ、、、、と、A×O?」

どつと笑いが起きる。

へ?

「さいだあ。」

「はい、?」

「遺伝は先週で終わったぞ。それに今は第4章・環境と動物の反応のP58〜をやってる。」

もう、いい、

片山先生、

はなげでてるのおしえてあげない。

6時限目・体育

考えた！

そう！

香谷君の靴箱に鍵を体育の帰りにいれちゃえばいい！

そしたら6時限 掃除 帰りのときに香谷君だけが気づく。

バレンタインのおんなのこみたい！いえいえええ〜い（泣）！

実はあの後も（懲りずに）考えた。

メモ帳はかわいいプーのパットがあるが、そんなんで、一瞬香谷君を誤解させたくないし、

そのあと、「あ、なんだあの佐井田からか、。」「なんていわれた

くないし。

ノートの切れ端なんかだと砂にまみれて、ごみと思われて、ポイされても困るのし、しかもそれを1年生の掃除係が「あぁーっ!!!!!!」なんて見つけても、困るし、てか大問題だし。

てなわけで黄色のふせんにした。

ふせんなんて、片山先生でもないから、持ってないけど、ついさっき片山先生がくれた。

ここから(58P)だぞって。

ふふ。

片山先生って、ここにいらたい。

あ、

あたしもか。

「ありがとうございます。お返しします。」

いちおお礼も書いておく。もしかしたら、そーとー嫌なやつ(香谷君のこと)かも知れんけど。

私はそこまで無礼じゃないのよ、いちお。

てか、これならべつに掃除係が発見しても大丈夫じゃん。お返ししますだけでもよかったかも。

でもこれじゃ怒ってるように見える？

(ありがとうの部分、指隠し) お返しします。 ! (怒 !)

どうせ香谷くんも怒ってんだし、これくらいでよかった？

、 、 、 もうボールペンで書いてるから消えないんだけど。

がやがや

「今日は、走るらしいよー！」

「まじでー?????」

がやがや

気づいた。

意外に体操服ってポケットがない。

なんでポケットぐらいにつけないのよー！

経費削減？

鍵はどこにかくしとけばいいの??????

今の時期じゃペットボトル持ってる人いないし、

みんなてぶらじゃん。

「杏、いじぶ。」

おおおおお、！！！！！！！！

かなちゃん、！

ナイス！

「うん、ちょっと待って。」

わたしもタオルをもっていきます！

で

もういっこ気づいた。

6組の靴箱つてとおっ！！

バレンタインのおんなのこのことを考えたら、こんな広おーく靴箱の場所をとったりしないし、こんなに全体を見渡せる程、低ーうい靴箱を設置したりしない。

設計間違ってる！！

あ！

でもだいじょうぶ！

今日は5組と合同の体育だから、6組の靴箱にちかづきやすーい！

いえーい！

つてあたし4組だし、

つて5組の人もたくさん近くにいるってこと???!?!?!

いえーい(泣)！

「杏、いくよー！」

「、はいー！」

とりあえず、自分の靴箱にタオルごといれとく。

「いっちにー、いっちにー、」

閃いた！

そうだ！

途中でトイレで抜け出して、いれちゃえばいい！

ナイス！

走ってるから頭に血がめぐってちゃんと機能してくれたんだ！

運動つてすばらしい！うん！

香谷かたにだから、出席番号は5番目くらい？

いえーい!!--

はあ、肩こったー！

きょうはちゃんと運動しよ！

「いっちにー、いっちにー、」
「、」
グランド2週半目。

じゃあ、あのラインのたぶん下段の3番目ぐらひにこたひつと
なれつと、、、

ん???

きゃー……………っ!!……!!……!!

もし、

もし、

香谷くんが

鍵をかけてたら?

その、

靴箱に?

靴取られないように?

掛ける派：掛けない派ニアリーいこーる1…1。

つまり香谷君は1/2で掛けてるってこと。

の……………っ!!

火曜日6時限目体育、掃除時間

いえいえもしかしたら、鍵掛けない派かも！（そうだ！そうだ！）

もー

ちよう前向きになるっきゃない。

「今日は3ヶ月のまとめに50mのタイムをとります。」

はい！

佐井田さん走ります！

はしりましたー！

きいっ

っっ、

うー、

！、

！

「9、50。」

うへ。

もうすぐ10秒台突入。

、
、
、

って

今がチャンス、

じゃない！？！

「先生、私お手洗いに行つてきてもいいですか？」

よっしゃ完璧！

さらつと言えた！

ちゃんと言えた！

お手洗いつて言えた！（トイレじゃなくて）

「あつ！あたしも〜！」

ええええええええええええええええつ！！！！

かなちゃん！！！！！！！！

いや、

おっきいほうとかおもわれたくないし！（んなのおとめのはじー！）

もう、なんとかしてー！！！！

でも実は一つだけ収穫（！）

あのラインの人、ほとんど鍵掛けてなかった！

（ちらっと見たけど、2人くらい、まあその2人に入っていないことを願う、）

そういや男子って鍵掛けないよね。

バレンタインを想定して（笑）

キーンコーンカーンコーン。キーンコーンカーンコーン。

原点回帰。

そうよ。

みんながいなくなつてから、
サクツと入れちゃえばいい。
サクツと。

さあみんな、

はやく教室へ戻ろう！

先生がハードルを片付けてる！

「あつ！先生私持ちます！」

「あら、佐井田さん、大丈夫よ、一個くらい。」明らかに驚いて
いる。

そりゃそうか。

おとなしめの佐井田が荷物運びを買って出たんだから。
あたしもびっくり。

こんな大きな声でるのね。

でも、

私だつてたまには運ぶし、

て、

そんなことおっしやらず

はこばせてくださーいっ……！！

「、、、じゃあ、お願いしようかな。」
先生が真剣な目で私を見る。

先生、分かってるーう！

「はい！じゃあ、持っていきます！」

「杏、先いつちやうよー??」

かなちゃんたちが声をかける。

「ラジャ。」

よしよし。

いいかんじじゃない???

倉庫へ運び終わると、5組の女の子3人が靴箱にいるだけだった。

よしよし。この調子だと、私が靴箱につく頃には誰もいなくなる。
あとは

香谷君が（縦4×横15〃）60分の2に入っていないのを祈るだけ。

ぜんぜんよゆうよ、さいださん。

着いた。靴箱！

イエス！ジャスト！誰もいない！

「じゃ、先生、またきんようび、。。」

「佐井田さん。」

はい？

「あなた、何か悩みがあるんじゃない？」

「へ？」

へっ？！

「その、あなたが途中でトイレに行くなんて珍しいし、私に話しかけてくれるなんて、

その、

うれしいのよ。」

のおーーーーー！ーーーー！ーーーー！ーーーー！

「あなたの担任をした時とは、違って、

最近、というか今日はずいぶんと明るいから、去年はあなたのご家庭のこともあってそうなのかとか考えてたの、

あ、失礼、ごめんなさい。

ただ1年の時のあなたの唯一の悩みは

まだ××が来てないってことだけだったし、っ、。

ののおおおーっ！っ！っ！っ！っ！っ！っ！っ！

せんせい！わたしもううれしいです！せんせいが私の一年の時の悩みを覚えててくれてーっ！っ！っ！

そしてその悩みがその後すぐに解消されて、せんせーにご報告してないこともー！！

でも

今は、ほけんのおはなしじゃなくて、

かぎを

い、れ、させてええーっ！っ！っ！っ！

「せんせい、そうです、ちゃんと、

スタートしました。」

はあ~~~~、。

なにを言ってるんだ、あたしは。

校庭の真ん中じゃない、から、まし？？

「そうっ！っ！よかったわね！！××始まったのね！！」

ぎゃーっ！

ぜんぜんぜい！！！！

ぐるじいじいー、

って、

誰かとおつたらどおするのっー！ー！ー！ー！？

こんなセンチティブなはなし、ほけんのせんせいなんだから

察してっっ！ー！ー！ー！

「ゴホッ、、なんで、、今は悩みはありません。」

「そう、」

ちよつと！

先生背景に「しょんぼり」って書いてありますよ！

って

生徒の悩みがなくて落ち込むせんせいって

どうよ?!??

「青春時代は悩みがつきものだものね。

また悩みがきたら相談してね。

恋のお話でもいいのよ（ハート）

じゃまた金曜日 「

つんなこと

だれがきめたあっ……!!……!!……!!

て。

カギ………っ!!

となり!

隣!

隣の列!

あつた!!

「香谷直也」

あーっ!

見て!

鍵、

掛かってなーいっ

ん。

いまさらだけど、

なんか緊張する。

カコツ。

うわお。

靴、

おつきいー。

たしかに香谷くんってあたしより高いけど、
あたしだって168?あるし。

靴は香谷くんの方がだいぶおつきい。

、、、、、、。

カチャ。

、
、
、
、
。

かたん。

なんか、

あっけないな。

、
、

もどろ。

「ちょっとー！ー！ー！掃除してよ、田中あー！ー！」

「掃除はみんなでするもんじゃん！」

「なによーっ！数学の小テストの答案教えてやったのに！」

あーっ

危なかった。

危うく一年生の掃除当番とバッテリーングするところだった。
て、

一年生にはわかんないよね。

一年生たち、廊下ははしっちやいけないよ。

うむ。

「もうっ！ぜったい教えてやんないからっっ！！！」

あ。

もしかして。

ギブアンドテイク。

つまり香谷くんは私に自転車を返す。

私は家に泊めてもらっ。

ただそれだけ、

ただそれだけ

で

いたい。

りゆう、その、なんだっけ、？

いいや。

たぶんライトアンサー。

「佐井ー、ごめんね。」

うん、

やっぱりついてない。

「大丈夫って!」

「あたし、知ってたのに、売店行ってたから、」

「だ・い・じょ・う・ぶ・だつて。トイレで着替えれるし。」

トイレはたぶん着替えられない。

あのトイレ掃除の三年生、怖いもん。

じゃなかった、
にがて。

「佐井ー、ごめん!」

ああー、男子がこんなにいるんじゃない
いまさらクラスから追い出せな
いでしょくに。

「あたしがカーテン開けたの、ごめん。」

「いいって、いいって。」

そうよ、

着替えてる途中に、

カーテンおーぶん!なんてことにならないだけ
まして。

たぶん。

「とりあえず、これに制服入れときなよ！」

「わお、サンキュー、かなちゃん。」

さすがは、とも。

しかも！！

「かわいい！このバッグ。」

プーさんっ！！！！

「もらっていい？」

「だめ。」

ですよー。

さてと玄関掃除に参りますかね。

あっ。

プーさんのメモ書きがある。

「サンキュー！きょうはいん会があるので、さき帰ってて〜by
さなえ」

そついや、さっき早苗が6時限目の国語忘れたから教科書貸してっ
て来たな。

っ

て、自分（早苗）のほうがしょっちゅう教科書忘れてんじゃん。
しかも、あたしのメモパッド勝手に使ってるし。

し、か、も、

『2組佐井田杏。(極太)』

ちよつと！

H Bでちよこつと書いてただけなのに！

ふとペンで書き直してる〜(泣)！

しかも

消えない！

油性マジックで書いてる〜〜〜っ(泣)！！

「(ちつちやく鉛筆書き)もっと大胆になれ！BYさなえ」

あーっ！

もう、

あなたの友達はとつくにちよー大胆なんだよ！

あなたのクラスの男子の家に泊まってたんだよ！！

あーっ！

「自転車屋？」

ここはいちばん知ってそうな、高橋君に聞くのが得策でしょう！

「うん。うちの学校の近くの。知らない??？」

「何？修理代ないなら、僕たちで直してあげようか？」

ぎゃっ!!

ムリ!!

んなことになったら、（技術部の手に掛かったら）その日のうちには帰れない。

電動自転車には乗れるかもしれないけど。

あっそれもいいか。

って

むりむり!!

肝心の自転車がないんだもん。

もしかっつり壊れてた自転車を目の前にしたら、今度こそ話しちゃいそうだもん。

「いや!!大丈夫!お気遣いありがとう!ただ空気少なくなった時とかどうしようかなくて。」

「ああ、そういうこと。」

あつ興味それた??

でもなんだ、?

この国語のテストの後によくされる、「あつゝたぶんそれじゃ減点だな、」みたいな顔は。

そして大抵2点減点されてる。

むっきー!

「自転車屋なら裏門下りて右に行ったところに2軒並んでるよ。」

「2軒??」

「うん。ひとつはお婆さんが服装とかうるさいから気つけたほうがいいよ。」

だいじょぶだも〜ん。

アイラインしかしてないし。

「高木さんでも一時間説教されてた。」

たかぎさん??

せいとかいちよーーっ!!!!

まじで?!?!

「じゃあ。」「ちよっど!」

どっちがお婆さんとこなのかくらい教えなさいよ！
それが、

行ったらわかるんでしょうね？！

「どっちがそのお婆さんとこなの？」

「学校に近い手前のほう。」

ホッ。

「でも目の前を通っただけでも見逃さないんだって。しかもお婆さんは年中ずつと座ってる。」

ぎゃーーーーーっ！！！！

それじゃほぶく前進しておばあさんの前通れってこと？！

「裏門出て左に曲がって学校をぐるっと一周して回り道するとい

いよ。」

なるほぶ。

そうだね。

「ところで佐井田さん。」

「なに？」

「なんで体操服なの？」

放課後

あっけらかん。

なんだ。

周り道したららくしよーじゃん。

あたしバカじゃないから、

興味本位で頭を出して覗くなんて
馬鹿なまね、
しないしね。

「こんにちはー。」

おっちゃんがいる。

「こんにちは。」

「私の自転車見にきたんですけど、」

「おじよーちゃん、うちで修理だしたかい？」

オジヨーちゃん？

「あつ、」かたに「で出してると思います。」

「かたに？」

あーっ

できれば察していただけると！

「こんぐらいの長身の男の子で、」
「」

うー、ん？って顔しないでよ！

「髪こんぐらいで、黒髪で」

「ちらっとしてて、」

「足が細くて長くて」

「色白で」

「あつでも眉毛濃ゆいかも。」

「や、目切れ長だから、そー見えるだけか、」

「あつでも二重??」

。。

「つまり、

イケメン！」

「そう！」

って、

ちがー！ー！ー！っ！ー！

ここに来てないの???

???

あまりにもぐちゃぐちゃで、

『はいひんかいしゅー』行きとか。

ひゃあーっ！

あたし自転車買い替えるほどお金ないよ？

「そっぴや、昨日隣に客が来てたな。」

となり、、

となりいっつ？！

「この！！松井優作っ！！て聞こえた。」

かたにくんだああああ。

あっーもう、

なんで

となり

行っちゃうの???

「あのばあさんがえらく騒ぎ誉めてたから、
よっばどまじめな子なんだな。」

、、、、、、、、。

そうだ。

香谷くんはイケメンだし、ほどよくマッチョだが、

制服いじってないし、

別に髪セットしてる感じさえないし、

て、

眉くらい剃ってるくらい?!

あーっ

この世には油取り紙さえ不要な人間がいるのね。

って

つまり

あたしは隣に頭突っ込まないといけないわけ。

おのずから

あ、

みづから?

しかも

頭だけじゃなくて爪先からってっぺんまで。

しかも、!

「ちわーす、あっしのチャリありますか、
修理してくれますか?」って、

声まで。

のおおおー！！！！！！！！！！！！

とりあえず油取り紙、

じゃなかった、

ビオレクレンジングシート！

アイライン落として、

あ、

リップもだめ？！

もーっ

ファミレスのおっさん拭きなきやだめ？？

ぎゃあっ

ダメーッ！！！！

いずれにせよ、

眉は生えてこないやんっ！！！！！！！！

あ、

眉毛はおっけー？

いやいや、松井優作は特別やん。

もっー

やっぱ技術部に頼めば良かった！

無料の上に

電動サイクルやん！！

「こんちはー」

お？

おっ？！

「ばあさんの喜びがいつかおぼろげに
松井優作やな。」

いるー！ーっ！ー！！

ぎゃー！ー！ー！ー！ー！ー！ー！ー！

いる？！

いるっ？？！！

っ！？！

ほ、本物？！

って！

おちつけ、あたし。

無理!!!!!!!!!!!!!!

かたにくんに睨まれたら、
まじ、

「蛇に睨まれた」気分!!!!!!

(あつーなるほど!こーゆう時に言つのね、!)
しかもその上にコワいおばあさんに眉毛がないって(隣に立ってる
人には言わないのに!!)言われて、
化粧どーのじゃなくて、顔がなってない!)って言われたら?
?????

キャントアライブ。

「ほれ、行ってこいな。」
ドン。

どん?

ガターーーーーッン!!!!!!!!!!

「だいじょつぶかつ！？じょつちゃん？？！…！」

佐井田杏、人生（享年16）でこんなにおじさんを恨めしいと思っ
たこと、
ありません。

そして

やっぱりあたしは、

「おじよーちゃん」じゃあない。

だってこのかつこ。

痛すぎて、

顔、

あげらんない。

っすいんこっす

「このままじゃまずく井戸をいす？」

あ————————————っ———！！

、、、、、、、、、、。

「ぶっ！、、

あははは！！

佐井田さん、
、、、、

だいじよぶ？」

ぶぶぶぶぶ

って、

おい！

全然心配の色が見えない。

そこ笑うところじゃあないっしょ。

こっちは小学一年生以来に膝擦りむいてるっつてのに！（怒）

「佐井田さん」

「パンツが見えそう」

「ぎゃっ」

なんですとー！ー！ー！っ？！！？！！？

「い、いま、み、っ？！？！？」

「うん、」

ガクッ！ー！ー！ー！っ

フツの顔で、

それー？？？？

「見えなかったよ」

、、、、、。

ああ、そこで句読点はあ用いるべきじゃないよ、香谷君、。

「膝擦りむいてる？？」

うん。

だからさっきからそーいつてるじゃん！ー！ー！

（こころのなかで！ー！）

、。

あれ？

て、

心配してくれてる??

「おじょうさん、奥にバンソーコーあるから、まっっておきなさい。」

ぎゃっ、忘れてた!!

おばーさん!!!!

「はいっ!!」

「うん。返事は大変よろしい。」

やれやれ、

バンソーコーじゃなくて、

ビオレクレンジングシートを、。。。

ってそれじゃあ、間に合わない。

かばんにあったけ?????

「じょっちゃん、ごめんなー、悪気はなかったんだ。んなにびっく
りすると思わんでよー。きゅーきゅーばー俺もとってくりやあ。」

「。。。ありがとうございます。」

じゃ、なくて、ビオレクレンジングシートを！！！

ってあったけえー！！！？？？？？

「、、、、何探してんの？」

ぎゃっつ！！！！！！！！

佐井田杏（16）すべてを忘れてました。

現在危機的状况。

？睨まれた香谷くんに現在真向かいで顔を合わせていること。
？躑に厳しいおばあさんにたぶんあと十数秒後にまじかで対面すること。

「はい。」

／＼

ハンカチ???

「それかそこでぬらして来ようか。」

ああーなるほど、そうすれば、

蒸らしタオルがわりになるねえ、。

って

ちがうわよ、佐井田杏!!

たぶん香谷君はそれを傷口に使えといっているのよ!

きゃあ!

これって女の子憧れのシチュエーションじゃない!?

すんげー!。

よかった!。

ビオレクレンジングシート探してるってばれなくて。
(しかもあたしハンカチ持ってないし。)

「ぎゃー……!!」

いったあああ………っい……!!

「ちょっと……」

香谷くんいきなり何すんの????!!……!!

「ちつきから」「ぎゃー!!」ってさけんどばかり。」

き………!!

にやにやしてわらうな……!

ひとのふにーをわらうな……!

っで、

改めて見ると、

いった………っい………!! (泣)

「と……」

！
でた、！

この顔！

ちがうんだつって！！！！

あたしは鍵を誰にもわからないようにこっそり返しにきただけなんだって。

別にスポーツ大会のサッカーの優勝戦でキャーッ先ぱーいつ！とか叫んでる一年の女の子とかとは違うの！

ちゃんとこっそり靴箱に入れたげたでしょ！！！！

「なんで昨日言わなかったの？」

「へ？」

なにお？

「教科書。

今日、生物あつたんだろ。」

「、、、、、、、、。へ？」

「昨日、なんか言いたげだったのに、言わなかったじゃん。俺、勘違いしてTシャツとか、、、、。

今日こっそりうちのクラスまで借りに来てて初めて気づいた。」

「ちゃんと今度は言えよ。」

・・・・・・・・・・・・・・・・

いや、着るのも必要だったけどね。

って、

へ？

まさか

まさか

それで

それで

あのかおっ？？？？

ニアリーイコール、ライトアンサー

かんがえうるりゆうその4よん！

『単にあの顔が常。』！！！！

よかったーーーーー！！

刑務所にも退学にも停学にもならなくて。

あたしのぼつそーもたまにはいいほつに転ぶ。

てかたまじゃなくて、

これが、

初めてじゃない？

「なあ、聞いてる？」

「で、あと、あれ、」
「まてよ、」

「ってことは、、、、、！」

「、、くつばじだ、、、、、、わざわざっ？」

くっくっくっくっ

おいー！

あたしの今日の生物の時間をつぶして考えてやった方法なのに！！！！

「だって気づかれたらまずいでしょー！！！！」

第一一番の原因はあんたのその顔だっつーの！！

「気づかれずに返す方法ならあるじゃん。」

「たとえば？」

反論。

「俺が佐井田さんに鍵を返すなら、」

「これ、落ちてたよ。」って手渡すけど。」

むむ。

まだ反論できるぞ。

「でも、鍵だけじゃ誰のかわかんないじゃん。」ってなんでにやついてんのー！

「水性マジックで、「2組佐井田」って書いてく。」

さらっつと答える。

「んなの、あたしがばかみたいじゃん！て、誰ん家のか分かったら、鍵の意味がないじゃん！」

「でも、国語の教科書の裏にはマジックで書いてたじゃん、「2組 佐井田杏」って、おつきく。」

香谷君がさらににやにやして笑う。

もっーーーーっ！！！

なんで今日はこんなについてないの???????

「ほれ、バンソーコー。」

でかつ！！！！！

それはたぶんバンソーコーとはいわないんじゃない、。。。

びたっつ！！！！！

シッ

しっみるびらびらびら。

あーなんで

あたしの

周りの人はこんならっぽーなひとばっかなんだろう。

あー！あたしがおーざっぱだからか！

「じゃあ、今日は帰ります。」

「ああ、また明日おいで、松井くん。」

まついじゃないよ、おばーちゃん、

つて、

あ！

「ええと、自転車は、」

「まだ、直ってないんだって。また明日俺が来るよ。」

「そーなんだ、」

「じゃあ、また。」

はっ！

今、おもいつきり目が合っちゃった、

おばーちゃん。

「あなた、」

ひいひいひいひい、、、、、、、。

「はい」

「もっちょっと、野菜たべんと。にきびができとし、肌も唇も荒れとる。」

「おお、おれんこのきゅーきゅーばにはいってるとぞ、新品のニベアリップクリーム。ほれ、使え。」

「、、、、、、。」

わたしにも

せっきゅーしゅー……。 (泣)

番外編 火曜日 香谷家にて

マイグットネス!!!

ギブアンドテイクが続くなんて!!

あたし

今日も香谷家に泊まってる—————っ!!!!!!

べつに自転車がまだ直ってないからとかじゃないし、

(あたしの人生の方針としては、香谷さんと違って、オンリーギブの人間であるつもり!)

べつにバスの次の便の発車時間が19:15だったからとかじゃないし、

べつにおいしいそうな野菜たっぷりのご飯(鮭の中華風あんかけ!)
が食べたかったからとかじゃないし、

べつに香谷くんが後で数学の小テストの回答を教えてくれる(次回
は満点!万歳!)とかじゃない。

あぁー

あたし高校生として、

どうよ??????

せんせいたち、

あたしたちに道德の勉強をさせるべきだよ。
自分たちの教科の単語テストとかじゃなくて。

いま、あたしがお風呂場（すでに香谷家の別宅、）のドアを前にしてたたずんでるのは、

実はそこにある「ラズベリー」と書かれているのはバブルバスなんじゃないかとが、

実はあの時、ほんとにはパン〇が見えてたかもしれないからとかじゃない!!!

そう!

パン〇がない!

替えがなーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーい!!!

あ—————っなんで昨日洗わなかったんだろ—————
っ！……！

いやいや！

今日まで泊まるつもりなんてなかったし！

あ—————、

どうして今日も泊まっちゃったのよ—————っ！……！

エックスキューズミー！

杏！

だいじょーぶ！……！

ノープロブレムよ、……！

あなたにはルメリがあるじゃない……！

ただいまの時刻は20:06。

スーパーショッピングセンター、ルメリなら夜9時まで開いてるじ
ゃない！

ルメリの2階のあの角には売ってる……！

どーせ色気も胸もないあたしには、あそこで十分！
かなちゃんにはせめてその中にあるワコールで買えと怒られるけど。

お金もある！（¥30、383もある！）

ただ問題がひとつ。

香谷家本宅に侵入しないと、

外に出られな〜い！

しかもさっき、

「なんか必要なのがあれば、全部俺に言えよ。
って再度言われたばっかだし。」

あーん。

しかも、あたしがこの時間にルメリにいたら、
知ってる人からしたら、不審がられる！（そこも問題！）

でもさすがにいけないっしょ、

生物の教科書は頼めても、

あたしの上ト下トじゃ。

なんのなんcmとか。

ぎゃー………っ………!!

たすけて………!!

時刻20:21

もーっ

こっそり出るっきゃない！

だいじょーぶ、

服は大字高の制服を着ていても、

あなたにはプーさんのデカサババックがあるじゃない！！

（ああー気づいたときにはかなちゃんも教室を出たすぐの廊下にて、まあ走って声をかければ間に合う距離には居たけど、他の友達と話しているときに声掛けるのはちょっと気が引けたし、まあ一日ぐらい遅れてもいんじゃない？本人も気づいてないし、いひひっていう「天使」からの声がきこえたし、と、

まあ、とりあえず返せなかったから、現在持つてる状態。）

あたしにゃ、

プーさんさえいれば、

だいじょーっつぶ！！！！

時刻 20:23

香谷家本宅玄関ドア前にて

ラッキー

香谷くん、
居間には
いらっしゃいません。

たぶん、お風呂です。

よかったー！ーっ！！

それではプー、
いくわよ！！！！！

時刻 20:54

もーっ

やっぱりワコールで買えばよかった。

ルメリの店員2人で、はよ帰ってかんじでこっち見てんだもん。

まだへー店まで30分もあるでしょ！

って高校生もいちお客なんですけどっ！！

結局紫と白とを購入。

だってどっちもかわいかったんだもん！！

べつに明日も泊まるかもとか思ってないって！

絶対思っでないって！！！！

時刻 20:57

あれ？

あれれれれ？

ドアが開いてない。

まさか

まさか、、、

鍵、閉めちゃった？？

ちよつと!!!!

もしもし!

そだ!!

ほかに入るとこ!

ってないからわざわざ母屋の玄関から出てきたんじゃない。

「はい、どちら様ですか？」

香谷くんの怪訝な声が聞こえる。

この時間じゃ不審者だわ。

うう。

「、、、」

佐井田です。」

ガチャンッ。

ばたばたばたばた、、、

せめてなんか言ってから切ってえー！

ガチャッ。

「、

なんで、？」

う。

「ちよと買物に、、、。」「

、っ！

またあの顔っ！……！！

「、、言ってくれていったじゃないか。」

「だって、、。」

「、、、、。」

「何？」

俺ってんなに頼りにならないわけ？」

ちよっ！

「ちがつ、！」

「あーっそれとも察しろって？昨日のときみたいに？」

ちよっと?!?!?!

「何よ、そこまで言っていないじゃん！いつまでも引きずらないでよっ！」

「あーごめんね。俺はねちっこくて、んな配慮もできなくて！」

かちん。

「えーっそうよっ！人前でパンのことなんか話すやつの気がしれない！どーせ見たんでしょっ?!?!？」

「あーっ見えたね!!!!!!」

、、、、、、、、、、、、、、、、。

え。

「もしかして」(香谷)
「もしかして」(佐井田)

「バツグン中、」(香谷)
「見た、」(佐井田)

いちゃっ-----っ
!!--!

時刻 21:01

ラズベリーの香り全量バスタブ投入。

時刻 22:00

泡が消えな————っいつ。

時刻 27 : 48

本日最後に覚えてる数字。

水曜日　くGOODモーニングく

くくくくく。

チチチチチ。

ん、

朝ね、くく。

きょうもきくとすてきないちになりそう、くくくくく。

て、

あたしや
そんなに

にんげんできてねっっ

っっっ(泣)

もう、こうなったら、

一生！香谷くんに会わずに生きる方法！……！
考えなくちゃっ！……！

1・RASP、

きゃー！ーーーーーーーーーーーーーーーーっ！！！！！！！！

ラズベリーバスを買う、

これ、これ、これっ、

ロフトよね？(このパッケージ感からして)

、てっ、ちがうわよ、

さいだあんっ！！！！！！

あなた

それ、

どーやってそこに(かったやつ)モドスつもり?????

っじかんがないっ！

つぎ!!!

2 .

全校集会は左側を見ない!!!!!!

コレできるわ!!!!!!

得意よ!

みぎひねり運動!

隣のクラスのイケメン隼くんをみとけばいいしっつ!!!!!!

GOODOODS!!!!

次っ!!!!

3 .

えっと、

そう、4時間目の聴覚室は

職員室側を通っていく!!!!!!

いつとき6組前の廊下は立ち入り禁止だわ。

次！！

4 .

自転車を取りに行く！

あっ、
でも

二人だけであつちんこ なんて、

ノのおおおおおおおおおおおお

っっっっ！.....！.....！.....！

おっつ！

わたしとしたことが！！！！

昼休みにいけばいいわ！！！！

GOODS！！！！！！！！

じぎじ！！！！！！！！

5 .

どうやってココから出るのか？

それは2Fから飛び降りて、

無理！！！！！

しんじゃうー！

ていつは、

後MAXで30分後には

家主とご対面っっっっっっっっっっ

？？？？？！！！！！！！

無理無理！！！！！！

しんじゃうっっ！！！！！！！！！

しかもかも！1 を考慮すると、

『香谷くん、、、』

あたし、

昨日ね、

思わずバブルバス全量使っちゃった、

えへ、

ごめんなさい。

、あと昨日は黙って出てってごめんなさい、

だってあなたも知ってのとおり、

わたし、

わたしの、

『

の、

ノオオオオッーーーーッッーーーー

っっ!!!!!!!!

(てか『てへ』って誰っ?!!?!?!だれっ?!?!?!?!?!?!?!?!?!?)

神様! 仏様!! 佐井田家のご先祖様、!!!

どうかお助けあれっ!!!!!!!!!!

てか

現時点で、

5が、
ちよー難問。

ん?

なんもん??!!?!?

な

んもん

つーーー(すうがく………っっ………!!)

ああっ!!……!!

数学の小テストッ!!

、、、、、。

さよなら、

わたしの

初満点!!……!!

て、

それどころじゃあないでしょ!!……!!さいだあん!

あと、27ぶんしかない————っっ……！！

……！！

水曜日／＼佐井田さんの朝の貴重な2分間／＼

さわやかにいくのよ、

佐井田杏！

「GOODMORNING、MR・KAORITANI」

そっよ、

あんたは 女優！

松・た・か・よ！！！！

YOU CAN DO IT！！！！！！

、
、
、
、
、
、
。

ぎゃー！ー！ー！ー！っ！！

助けて！オバマ氏！ー！ー！ー！ー！ー！ー！ー！っ！！！！

（だめだめだめ！ー！あたし英語できないっ！

どうやっても

この状況説明できないっ！！！）

てか100人の日本人に日本語でーから十話せても

「あなたが押しかけたんでしょ、香谷家に。」

って100人全員に言われるっ！！！！！

しかもかも！！

バブルバスつかっちゃったし！！！！！

（価格は¥1,260円。AMASSON・JPNにて確認済。）

もうその浴室に、現金置いて無かったことにしちゃおうかしら？
???

『あらやだ、

わたししたら、

買い忘れてたのね、

バブルバス。

浴室になまゲンキン置いたまんまだったわっ。ウフ。』

ていう

かわいらしいおばあさんがコロコロ（香谷家）に住まわれてるかもしれないし……！

ゝゝゝ。。

のおおおおっっっ……っっ……っ……！

とりあえず

思考回路が

さだまっつてませ……っん（泣）。

ひーっつ(焦)

あと、2メートルで

香谷家のドアっ！

ひーっ

ヒーっ

ひーっ

みーっ

おちつけっ(怒)!!!!!!

あーっもーっ

ええいつ!!!

オープンザドアーっ!!!!!!

ゝ

ゝ

ゝ

香谷くん、

まっ暗?????

あれ???

し
――
ん。

まだ起きてないのかしら。

、
、

そうね、

まだ、6:50だものね。

、
、
、

といつか。

良い

におーいっ

まるで

フギパンの工場の脇通路にいるよーな、

て、

んっ?????

そいつめるのは、

け、

けーき???

!

ケーキ、スクランブルエッグ、ポトフ、スコーン、ホットドッグ、
フルーツ盛り合わせ、コーンスープ、コンソメスープ、シチュー、
サラダ、バゲット、クリチー、、、

て、

えっ???!

香谷家って、

朝食バイキング??????

(バゲットもスコーンも手作り?!?!)

ゝゝゝゝゝゝ。

!

まさかまさかまさか、!

これ全部

作ったの???

いま、
なんつった?????

あたし

なんてことおっつ

……っつ……! !

そろそろしんだほづがいいわね、あたし。

てか

もしかしてもしかして

あたし

香谷君を

ス、

ぎゃあああつ

-----つ

-----つ!.....!

!.....!

タイプじゃないしっ

あんなおとこっつ!.....!ぶっちょづづらだしい?.....ギブアムドテイ
クダしい??!パン 見たしい?!!?!!?!!!

ヒラっ。、

!!!

ん?!?!?

なんか

おちた??

ぬおっ!!

つきゅっ!

九点っ!!!

すげっ!

あたし6点越え見たことないわ。

しかもこれ足し算間違ってるだけ???

まー

なんて贅沢な間違い!

て、

これ、

「香谷直也」、

すうがくの、

もんだい?? ??

、

!!!!!!

ジャラ。

!!!!!!

か、

鍵
!!

っ
例の

!!

し

ん。

もしかしてもしかしてもしかして

香谷くん、

も

水曜日／香谷くんの朝活7分間／

もしかして

もしかしてもしかして、

「おはようございます」

「おはようございます。」

「おはようー…」

香谷くん

「おはようー、」

「おはようございますー」「はようー」

もしかして

「おはようございます」

香谷くんも、

も、

も、
！

もう学校ついてるっ——————っっ——…………！！！！

そうだったっ！！！！！！！！

きょう（全校集会だから）

挨拶運動でてんだったっーっ！！！！！！！

「、、、、。。」

てか、

あと、

うんじゅメールかそこからで、

アイサツ

しないと

いけないわけ?!?!?

のおおっっっ!!!!

軽やかに蒸し!!

じゃなかった、

無視!!

できるーっっ?????

ムリムリ

むりっ!!!!

だって女子の美化委員長って、

日高さんじゃん!!

(しなかつたら

あたしの高校生活が

危ういつ!!!(

のおおおお-----っつ!!:!!:!!:

てか、あと

いち、にー、さん、

よん、、、、

きゅー、

はち、

、

な

な、っ
つ

たっ、

たかはしくんっつっ……!!……!!……!!……!!……!!

あっ!

いやっ、

べつになんでもないのよっつっ……!!
ウフフフ

「お、おはよ、たかはしくん
」

て、

なんかめっぢゃ

引いてますけどおーっつっ!?!?!……!!……!!……!!……!!……!!

「……、……、

佐井田さん、考え事?」

ずうえーん!ずえっつんっ!……!!

あたしは

いつもど・お・りっ!……!!

どうえすっ!……!!……!!

(言葉) 発っしてゐる――――っっ……!!

なむに引かれてますけど、。。。。

て、

あれ???

あれ???

コ、コ、

げ・た・ば・こ？

すぎてる？？？？？

過ぎてるっ！？！？！？

た、た、

たしかめっ、

ないとっつ！！！！

((クルリッ))

ぎゃっ！！！！！
！！！！こっち見てるっ！！！！！
な、な、な、

なんでっ！！！！！

「佐井田さん？？」

「はい〜ひっ？」

もう

あたし

カンペキ変（人）だわ。

「来週の土曜日空いてる？」

「う、うん、あいて、」

！！

まっ！！！！

まっまっまったああっ！！！！！！

「やっぱり空いてないっ！、かった、よ？」
「ご、ごめんね？」

これは、

これは、

もしや、

もしや、、！！

恒例の

高橋くんは早速1人思案し始めてしまった。

半年に一回こうやって（しかも決まって朝に）英論発表大会に誘ってくる高橋くん。

高橋くんは中学3年からの同級生。

彼は英語が話せる。

小学校4年生までアメリカですごしてたからで。

そんな彼が私をE・speakに誘ってくるのは、

あたしが中学の頃英語ができたからで。

と思っていただけで。

当たり前だ。

中学の英語なんて

たかがしれてる。

進学校かつ英専クラスがあるこの高校に入ってから

そんなささいな自負

こっぴどミジン。

最初の1カ月はこの不可解な感情にもがいた。

だけど、

5月には

そんな気持ちさっぱり消えた。

あきらめた。

そう。

あきらめた。

その感情を

私はあっさり認めた。

きつと

おとなになるって
そういうことだ。

むかしから

わたしは

はやくおとなになりたかった。

大人になったら

きつと

きつと。

「ん〜、じゃあ聞いてみるかな。」

あたしのかわりは
いっぱいいる。

「うん、原田さん、いいと思うな。」

気にすんな、あたし。

『残念』って言った時の、青いがかかりしたように見えた顔とか、
真の適任者を見つけてぱっと変わった赤い顔色とか。

この不可解さを。

「それじゃあさあ、佐井田さん、」

「ん？なに？」

「今」

好きな奴っている??？」

おはよーございます、
おはよー、

「、、、意外ね、あの二人、仲がいいのね。」

「誰と誰のこと？」

「高橋くんと佐井田さん。」

「、、、、、、。」

「そういえば、佐井田さんと言えば、」

「ん？」

「佐井田さん、昨日九時ごろルメリにいとこ見たらしいのよ、山

口先生が。」

「、、、。」

「彼女んちここから二時間ぐらいかかるところに住んでるって聞く
じゃない？」

「だから心配して声かけようとしたらしんだけど、場所が場所で、声
かけられなかったらしいの。」

「場所が場所ってどこだと思っ？」

「、、、。」

「そういえば、日高さん、」
「うん？」

山口せんせといえば、もう一人の山口だけど（笑）。言われたんだ、お前ら理系文系で組んでるだろって、風紀検診。

、、、。まあ多少はね。でも仕方ないじゃない。実際文系は女子が多くて、理系は男子が多い上、文系が私で、香谷君が理系なんだから。

だよ、でもさ、今日の奴交代するように、みたいなこと言われたんだよね。

うん、まあちょっと、でもそうね、

いいわよ。

いつもの

国語テストの

「やっちまったなコイツ」顔しやがったわ。

「ちがうんだよ、俺じゃなくて、」

わたしやなんにも

聞いてませーん、言っ
てませーん、

おもったけど

「塾の奴から聞かれたんだよ、佐井田さんどうなの??
って。」

「、、、。」

な、

な、
な、

なんですとっつーっつーっつーっつーっつー!!
!!
!!
!!
!!
!!
!!
!!

それって。

ちよつと!!

なにになになになにつ???

すばらしくない?????

いえいえいえいえ、

さいだあん!

こじで

あせつてー、は、いけないわ。

『日記』いえ、『自分史』にとどめなきや……!、
201×年6月、

「で、どつなの?」

「へ?」

「すきなやついるの??」

そうだった、

えーと?

すきなやつ??

好きなやつ、か。

『か?』

! ! ! !

あたしいま、

ナニオモツタ??

「あつやつぱりいるんだ!」

「えええっ?!?!いやっ!いないしっ!?!いないしっつ!?!」
「いや、ぜつたい、!」

キーンコーンカー、

「やべっ」(高橋)

「やばいっ」(佐井田)

「遅刻つちコクーっ!?!?!」(高橋)

「遅刻じゃんっ!?!?!」(佐井田)

し、しぬ、。。

あのあと結局『遅刻』だし。

朝の30分課外の国語は、

「佐井田あゝ」 「高橋いゝ」 「佐井田あゝ」 「高橋いゝ」

エンドレス 「佐井田あゝ！」の順で当てられるし！！

えっ！！てかなに????なんであたしが先に当てられるわけ??しかもあたしのほうが一回答える回数多いし！！

たしかにあたしが若干教室着いたの遅かったし、てかそれは男子のほうが平均的に足が速いのであって同地点からスタートすれば必然的にそうなるでしょ!!まあ一回多いのはあたしがまったく答えられなかったせいでもあるんだろうけど、、てか、国語って得意じゃないのよ!、、、

ていうか!!!

とりあえず遅れたのは、

高橋君のせいなのっ!!

あとあとあと

塾の誰から聞かれたとか重要なところあたし聞いてないし!!!

聞きたい!!!

と思いつつ今さら感ありありだけど、、

いえ、あたしに好きなやつがいるとおもってるから高橋君後でまた絶対聞いてくるはず、

よね????

じゃないと

気になって眠れな――――――い――！！！！

ぐっぐるるううううううう。

まじおなかすいた、、

蒸しパン一個じゃ足りないわ。

かなちゃんが

「蒸しパン意外とカロリー高いのよっ
つて言つてたけど、

お腹にはたまないみたい、

朝食あんだけたくさんあったのに、一個も手付けてないわ、

それにしてもすごいごちそうだったなあ~~~~

香谷くんあれいっただれだけかけてつくったんだろ、、

てか、

香谷くんさつきこつちまた』にらんで』らっしやいませんでしたっ
け????????????

ひっ!!!

家の、鍵は、かけたわ、

(ちよつと、もってていいのよね????ね?ね??)

ごはんも、、手つけてないわ、

(ヤマサキのチーズ蒸しパンを126円でゼブンで購入してたべた
だけ)

プリントは盗んだけど、(これ?これが原因?いや、あの置き
方はもってけどろぼーってやつでしょ、)

ぎゃっ!!!もしかして!!!

挨拶あいさつしてない!!!!!!!

しかも

日高さんにもしてな――――！！

たかはしくんのばかっ！！そしてあたしのばけえっつ！！

変な内容にうつつをぬかしていたわああああ、、、、、。

はあ、。

とりあえず、いまは、

ぜんごうしゅうかいちゅうにおなかがないようにはじはじを
をためるわ。

水曜日 全校集会（前書き）

既にお読みいただいた方には大変失礼いたしました。差し替えさせていただいております。再度ご一読いただければ光栄です。今後とも気長に『佐井田さんと香谷くんの一週間』にお付き合いのほど、よろしくお願いいたします。（にー）

水曜日 全校集会

し、
しこそう。

どうして校長先生の話って長いわけ??

あの時計の分針が30度も傾いてるはずなのに、

まだけつろんをだせないわけ???

校長せんせいに

こんど私から

人間のしゅーちゅー力の限界は3ぶん弱ということを申し、

!

ひいいつつ!!

うっ、!!!!

く(はらのむし)。

、、、。

、、、、。

はあ、

よかった、

今の音はきこえてないはず、

(たぶん。)

どうしてその、
みなさん、

静かなわけ???

もっとさわいでっっ!!いつもみたいにつ!!!!

なんかのほんにかいてあつたけど
にんげんしゅうちゅうしてるときは
おなかもならないとい、、。

はっ!

そうよ!

イケメンの隼人くんを、、

つて

いな――――い！

なに？

今日おやすみ???

とりあえず、

はらねじつとけば

なんとかなる???

はああああ。

うう。

ほかに

なんにしゅーちゅー

しとけてんのよっ！

はっ！

おわった???

もしかして、

おわった?????

はああああ

たすかったあああ、、、。

『つぎは各委員会より今月の活動報告についての話をさせていただけます。文化委員会からお願いします。』

あっ、、、

原田さんだ

そいいや、原田さんって。『ねえ、あのふたり

つきあつてんだけ?』
『えっ???!』

ダ・レとだ・れ???』

『、、、もう、

あんた声でかい!

、

原田さんと

6組の香谷くん。

聞かない?』

『まじでーっ????シヨククーっ!』

『、、、だからでかいんだって、

でもお似合いでしょ、

あのふたり。』

。。。。。

『い・や・だ!あたし

香谷くんがいい!』

『あんた、、、

意味不だから、、、。

3組の沢原(隼人)もいっつってたじゃん。』

『とりあえず、王子たちはだれともつきあっちゃっためなのっ!

!』

。。。。。

『以上です。6月20日の文化祭に向けまして、みなさん頑張ります。文化委員より報告をおわります。』

『では、美化委員よろしくお願いします。』

・・・！

『あ、おうじ！今日もかっこいいーっ！！！』

『ほら。原田さん見てって、ぜったいあのふたりできてる。』
『やだあっ！！』

・・・。

『いいじゃん、
ひめとおうじ。』

【しんでれら】とか??文化祭もあることだし?』

『やだ！姫、あたしがなる！！』

てか6組と3組じゃ無理よ！

3(さん)クラスも離れてる！！』
『いやいや、

1クラズれでも劇やれないし。

てかその前にあんと彼とじゃ、コメディー！』

『なんですってえ???』

、 、 、 、「めでたい。」

たしかに、

。。。

『おはようございます。まず、一つ目に毎週水曜日にさせていただ
いている挨拶運動について報告させていただきました。
昨年よりも、 、 、 』

。。。

あ、れ・・・？

『ね、あや！』

『なによ。』

。。。。！

『香谷くんこっち見てない??てか!!』

あ・た・しを

見てるっ!!!--!!』

『まや、

あなたね、

き・の・せ・い・よっ！！！！！！！！』

.....。

『みなさん、挨拶をしていただきたき大変嬉しく思っています。ただ、まだ若干ですがされていけない方がいらっしやるようです。』

あ、れ？

『ね！香谷くんにあいさつしないなんて！！』

あたし水曜日だ・け・はいつもより15分早く起床してにこやかに
清楚に挨拶してるのにつ！！！！！！』
『なるほど。』

あんたのおうじへの

【アイ】とやらは、

15分ばつきりなのね』 『なんですって????』

もしかして

『ね！あや、

やっぱりこっち見てるっ！ぜったい！』

『んゝゝゝ？、

そうかな？

寝違えたんじゃない？』

ま、

まだ

おこってる？

い、

んなわけ。

でも、

『あーごめんね。俺はねちっこくて。んな配慮もできなくて。』

いせいせいせ。

ほら、

ぶつちゅつじらだし

まえにもあったじゃない。こんなこと。

『あの顔が常』

そうよ。

でも

でも

今はその答えを、

『、、、以上で美化委員より報告を終わります。』

わたしは。

『ありがとうございます。』

ノゾンデル？

『ねえ、今日の香谷くん、』

『なんか機嫌悪かった』

『ちがうわよ！』

『クールだね』

『って言いたかったのっ！！』

『あんだ、、、』

『しかも若干死語を使うわよね、』

『きーーーーっ！！！』

だってなんかのほんにかいてあったわ、

《好きの反対は、

『あと、俺から一言、あつ！美化委員担当の2・6担任の山口です。』

嫌いじゃない》

『今日の2学年の風紀検査は
理系の先生方が文系クラスを、
文系の先生方が理系クラスを担当するんで！
よろしく！』

ならわたしは、、、

いやいや。

恩義があるから、
顔がいいから、
頭がいいから、
人気があるから、
原田さんと付き合ってるから、

『理系は日高が、文系は香谷が担当するんでよろしく……!』

そう、

だから

無関心ではいられないのは当たり前よ。

水曜日午前の部

2時間目 数学のテスト

んふふふ。

今日は佐井田杏記念日。

初満点の日です。

いいのよ、偽りでも、んであっても！らっさい！！
今まで人生、まあ、まあまあともに生きてきたんだから。
いいのよ、いいの！

さてと答えも確認したし、5、2、7、28ね、

5、2、7、28、

こになんにつば。

五・二・七・二十八、

5、2、7、28！

ラジャー！

「おい、配るぞー、教科書直せー」

さあさあ隠れましょうねー模範解答君

ん？

『よかつたら食べてください。』

はい？

いやいやいや、

あたし、

メリーさんの羊じゃないし。いくらまだ2時間目で時計は10:10を示しているというのに、

おなかが異様に空いているからといって、ペーパー（紙）は食べないわよ。うん。

ん？

『昨日は「めん」。』

、、、、、、、、、、、。

え？

て、

キノウはゴメン???

ああ風呂掃除の後、

生物の宿題思い出して、カバンからプリント取り出した瞬間にぴし
っと指切っちゃったからねえ、いいのいいの、同じ憎つき問題
プリントペーパーであつてもあんたが謝る必要ないし、うん、こん
なの膝小僧の傷に比べたら、

つて、

え？

ええっ???!

これは、

か、

かたに君?????!!

まさかあれ、

食べてよかったの——————っっ!?!?!!

だってあたしの好きな、ケーキとスコーンとポトフと、、

うっっっ。っっ。

て、!?!!

でなくって!?!?!?!?!
さいだあんっ!?!?!?!?!?!!

香谷君、

香谷君、

あやまっていらっしやいません???

誤って？

いやいやいや、

謝って???

えっ、

まさか、

ガサツ、

ほ、

ほんとだ。

「さいだ、教科書はなおせ〜」

「はっ、はい〜」

「じゃあ、はじめぞ〜」

。

、
、
、
、
、
、
。

、

ちよ、

ちよいまち、掘せんせ。

今数字忘れた。

コヨシ君、ニツケだっけ？

ごよしのひけ？

54ん2け???

ギヤっしー！！

わかんないっつっ！！！！！

「ーめごほ」

ギヤっしー！！！！！っしー！！！！！

() (んけって何の数字?んがー??いや、ジィろ?けってカキクケ
五っ???!)

「5点な。佐井田、」

うう、初満点が。

まじめに数式から勉強すればよかったあああ、。

「じゃ、再テストは昼休み。」

「へ?」

「昼休み、13:15から。しっかり勉強して来い。」

「いや、昼休みは。」

「飯は食えるだろ。はい、これ見て。頑張れ。」

むり――――っっ――！！！！

3時間目終了後、5分休み、

「杏、先行ってるよ、」

「ラジャ、」

6組の前を通る心配する必要なんて無かったんだわ。

いずれにせよ、この生物のプリント（提出期限火曜日）出し忘れたから、

回り道して職員室前を通っていかなきゃいけなかったのね。

うふ

うう。

また当てられる~~~~っ。

、

でも香谷君、

昨日のこと気にしてたんだ。

！、そりゃそうよ！謝って当然。

だっておとめのピー○○○を見たんだから。

あったりまえでさあ。

、

。じじいぐ。

はあ、

おなかすいた〜。

ん。

さてよ、

あたし若干感じ悪いひとじゃない???

((佐井田さんの頭の中：図式))

人：重要度； やつちやったこと； 進行度

香谷：重！！； わたしの、ピ、！； 済。

同上； 軽？； 勝手に外出したことに對して怒る・半済？

同上； 中； 自転車壊； ノットイエット！

総累計の感じ悪さ (KW) ; 56 / 100

佐井田：軽！； 勝手に外出；、私の自由権だし、！

佐井田：中、じゅう？； ラスベリーバス使用；、買いますよ！

(あ、てことはっ？！！！佐井田：重！； ギヤツ！昨日の香谷家の水道費っ！！！！、えっ、？

いくらくらいなの??？、千円くらい??？も、しないはず、とい
いな、、、、。もうなま現金おいちゃおうかなあ、、、、 (泣)。

KW ; 37 もとい 47 / 100

+プラス

佐井田：ちゅう・香谷くん謝罪に對し今朝の挨拶を不注意のため

きなかつた態度；

（ので落ち度なし！、の予定、。、）

総KW；47プラス12イコール、

若干、最後の項目でやばー！っ！っ！

でもどうする???

だって

香谷君、

いないし、

、

、

いる。

あっちの廊下から歩いてくる――――？？？？

カツカツカツ、
コツコツコツ、

なんでだあれもおってないの？？？

いま休みじかんよね。

ああ、いかんいかん、プリントがしわになっちゃうよ。
こっちにずらしてよ。

えーっと、

なんほすすんだ、？

この廊下って、いがいと、長い、し
いがいとあかるい。

そりゃそうか、

しろのかべだし、

きょうしつ3個分のながさだし、

もうーコぶんはすすんでる、かな、ら

えーと、

、

カツカツカツ、、、
コツコツコツ、、、コツ。

と、

とま
つて、

て、

いちお、なんかいまなんかいまいったほづがいいよね

、 『かたにくん』 つて、

こえを、、、

っ、！

「か、」（佐井田）「さ、」（香谷）

バタバタバタバタバタバタバタバタバタバタ……ッつつつ！！
！！！！！！

「ちよつと……！！！！！！」

「やっぱい、遅れる、遅れる……っ……！！あ、杏、！！はやくいかないと、また怒られるよ……！！」

「あ、

あ、
うん！！」

カツ。

あ、

いまとおりすぎた。

、
、
、
、
。

コッ、

コツコツコツ、
、
、

音が、

遠くなる

コツコツ、
、
コツコツ、

あたしも、

、

あたしも、

、

あたしもあやま、

いや、

謝らなきや。

クルッ。

あ、

れ、、、

香谷くんも

こっちみてる—————？？

「っ」

香谷くんも

なにか

言おうとして—————、

バ—————ッ！——！！——！！

「香たににいっつ！——カモンッ！——！ブツリっ！——！！——！！
物理の回答っ！——！！——！！——！！——！！——！！——！！——！！
おしえてくれえ！——っ！——！！——！！——！！——！！——！！——！！——！！」

バ—————ッ！——！！——！！——！！——！！

水曜日 立ちっぱなしの再テスト 体操座りの佐井田さん

13:17 職員室前廊下にて

「杏、また再テスト????」

「6組の人には関係ございません。」

「そんなことないですよ、毎回毎回毎回昼休みココ通るたびに
見かけるんだから。」

「(小さい声で)さなちゃんがいつも教えてくれないから。」

「あ、た、しはあなたのためを思って渡してないのっ! ともに勉強
強しなさい!!」
「か
てか
(小さい声で) あなた昨日ルメリに9時ごろ居たってほんと?」

「、へ?」

「ルメリでなにやってたの? 文化祭の準備??」

「え、うん、。」

「やばい、忘れてた、、、あたし、早苗に文化祭の準備で忙しいから、
一緒に帰れませんって嘘ついてた、
さなえ、ごめーんっ!!」

「文化祭の準備で珍しくあなたが躍起になってるの分かるけどさ。
いちおあなたのクラスも特クラ(特別クラス)だし、文化祭ばっか
にはまってるの丸見えだと、」

進路指導担当のヤマせん（山口）もずけずけ言ってくると思つよ。」

「早めにヤマせんと言つといたほうがいいよ。

じゃないと、あんた徹底的にもう一方のヤマせん^に検査で調べられる。

んなに成績良くないんでしょ、物理は。」

「う、ういっす。まったく。」

たく、うちのせんこうたちは（ピー）ってるわよね、まったく、

自分の教科の成績の良い奴だけはいろんなことに甘いんだから。

「成績のいいやつを順に覚える努力じゃなく、いかに楽しく英語^{エイゴ}を教えるか、の努力をしるつつうの！安陪せんめ、またあたしの成績のことねっちなっち言つて、

つてー！！

ぎやっつー！！堀せんせー！！！！」

流石、あたしの友達だわ、

「三山、邪魔しないでくれるかな？」

「はいせんせ〜」

さよなら〜といいながらきえていった。

うん、流石あたしの友。

て、

いまのほーそー禁ようございじょうぶなの？さなえ。

てか

今の話しでいくと。

わたくし、

山先生、もしくは学校のだれかに昨日見られて……、

「佐井田！手が進んでないぞー。」

「！だいじょぶですっ！掘せんせっ！」、、、、、
なにがだいじょうぶなんだあたし。

てかこのままじゃ

すうがくやばい、

自転車も取りにいけない、

放課後のロフトも危うい、

じゃなくて

なんかもやもやする、

はやく、

はやくごかいをときたいのに――――

「さいだあ、ご、かい」

はい???

「5の解、」

ご、

ごのかい?

「5の解、辺の長さ、

708?はないと思わんか?」

「、、、。」

「できなかつたら宿題追加だからな。」

「、、、。。。」

、。

、。

、。

だってなまじっかさっきのできごとだって

いままで話したことのある人の態度じゃないし

ほおが高揚して、

おめめがうるうるして、

まるでこつ初々しい女子学生が「っ、っ……！」

ぎゃっあっ……！

もうやめてええ……！！！！！！

てっ……か……！

ふっ……！！！！！！うに……！！

てか

普通に話せばいいじゃないっ……！、そうよ……！皆からするとわたしたちはまったくの赤の他人、

いや、今もそれは変わらないし……！

丁寧語で話せばいいだけだし、いや今までも丁寧語で話してたと思

うし、

くくくライト、オッケーよ!!!

、

、

あっーっ!!!

もう

なんとかしてーっーっ!!!

がやがやがや。

「あー。山口先生どうされました？今日は、えっ？あっ、はい、そうですね、そういうことなら、えっ、はあ、、、わかりました、

おーい、みんな、聞けー!!!」

おなじ山口なのに、完璧に主導権握られてるわあ。
てか、

まるきぎこえにしてる点で

山口せんせのほづがうわて？

「今日は残り時間は文化祭準備の時間に当てたい!ということだ!」
!!

は!

ということとは!

時間短縮。

つまり!

事前予告ありの本日の風紀検査はだいたい服装諸々正されてしまっ
てるはずだから、
やる意味がない!

よって、

お流れっ!っうことですね!山せんせ(たち)!!

「出席番号の素数そすうのやつだけ検査けんさすることにするっ!!!」

がくうっうっ!!!

って

そ、素数うっ?!!?!!?

て、

てか

それこそやる意味あんの??!

、

若干みんな引いてるし、

、

いや、

か、

数えてるし、

、

あたしは大丈夫だもんねー、

だって、

、

、

、

、

、

、

、
てか、

17

つて

素数?!?!???

ぎゃー………っつー……!

「いいなー杏、香谷くんとお話　!うちのクラスから女子二人だよ
~~~~。20分の1の奇跡!」

よかねーっ……!

しかも

んな奇跡!

いらねー………!

「………っつー………」

いつてらっさい、じゃないしっ！！！！！！！！

「はい、じゃあ2、3、5、7、11、13、17、

19、23、29、31、37のやつは残れ。

1組から順に検査するからな。理系は6組から。残りは解散。戻れ

！、

って何？

あたしラスト（杏は4組）のほうじゃん！！

あーっ！！！！！！

、

あれ、

3組の原田さんも、、、、？

はらださん、

脚長い、色しろい、、、、

きれいなひと、だな。



あとあと、合同た、

「佐井田さん。」

「わっ!!」「た、!!!!」

「なに?その反応はひどくない?今日同じ遅刻した仲なのに。」  
「!!!!!!」

た、

「た、高橋君!!」  
び、びっくりした。

「あれ、てか、、  
あたしと、、高橋君だけ?」

「特クラだけ13、17番だけになったって。」

ま、じ、でっ?  
じゃあ、

女子で の奇跡からクラスで の奇跡に格上げねっ

まあ

あたしってば、

ついでる————— (なにかが) (泣)

って!!



「特クラだけって、！」

「特クラに甘いよなー、せんせたち。いや4組には甘くないか、俺らは最後のほうだけど、6組は最初だし、」

いや、

指摘事項は甘いとか甘くないとかそこじゃ、

（いや、そこもか、）だとおもっただけどね、高橋君、、、、

「それとも遅刻したからかな？」

もっとも一番はそーだと思えます。

、

、

てか、

そんなことして、

うちらが生きづらくなることぐらいわかんないのかなせんせいたちは

「てかね、こんど朝言ってたやつとあってみるきない？」

「へっ？」

て、  
てか今、  
はなしが布団

もとい  
ぶっ飛んだけど

朝ってー

「朝言ってたやつってー？」

「うん、塾で佐井田さんのことが好きなやつ。」

きいやああああー！  
！！！！（てかなにっ？いま気温上昇した？！梅雨明けした？！  
！?）

うづうん、！  
さいだあんっ！！

おーちーっーいーてー

おちついて！  
とりあえず

こっは、

なまえをきく場面よ！！

ゴックン。

た、

「高橋くん、」

「あっ、いつとくけど、名前は教えらんないよ、(指差して)  
ココにいるから。」

ぎいゃああああー………つつつつ………!!

「ココってなにっ!?!?!?」

「ココって……?!?!?!?」

「この現場っつ??!?!?!?!」

「うん、あいつも確か素数。」そ、

そすー………っ………!!

「つてことは12×8+2+2-おんなの子イコール、

きいちゃああああー………ツ………!!

た、

「高橋くん!」(佐井田)「高橋!」

うへ?

「やまぐちせんせ！」

「おまえ、呼んだらすぐ来い、  
はやく戻りたくないのかつ」

「はいー、」

なんつーグッドタイミング、

、

、

てか、

てか、

てか！

わたしを、

わたしを

すきなひとが、

116 中 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181 182 183 184 185 186 187 188 189 190 191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207 208 209 210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246 247 248 249 250 251 252 253 254 255 256 257 258 259 260 261 262 263 264 265 266 267 268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281 282 283 284 285 286 287 288 289 290 291 292 293 294 295 296 297 298 299 300 301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320 321 322 323 324 325 326 327 328 329 330 331 332 333 334 335 336 337 338 339 340 341 342 343 344 345 346 347 348 349 350 351 352 353 354 355 356 357 358 359 360 361 362 363 364 365 366 367 368 369 370 371 372 373 374 375 376 377 378 379 380 381 382 383 384 385 386 387 388 389 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404 405 406 407 408 409 410 411 412 413 414 415 416 417 418 419 420 421 422 423 424 425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440 441 442 443 444 445 446 447 448 449 450 451 452 453 454 455 456 457 458 459 460 461 462 463 464 465 466 467 468 469 470 471 472 473 474 475 476 477 478 479 480 481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 496 497 498 499 500 501 502 503 504 505 506 507 508 509 510 511 512 513 514 515 516 517 518 519 520 521 522 523 524 525 526 527 528 529 530 531 532 533 534 535 536 537 538 539 540 541 542 543 544 545 546 547 548 549 550 551 552 553 554 555 556 557 558 559 560 561 562 563 564 565 566 567 568 569 570 571 572 573 574 575 576 577 578 579 580 581 582 583 584 585 586 587 588 589 590 591 592 593 594 595 596 597 598 599 600 601 602 603 604 605 606 607 608 609 610 611 612 613 614 615 616 617 618 619 620 621 622 623 624 625 626 627 628 629 630 631 632 633 634 635 636 637 638 639 640 641 642 643 644 645 646 647 648 649 650 651 652 653 654 655 656 657 658 659 660 661 662 663 664 665 666 667 668 669 670 671 672 673 674 675 676 677 678 679 680 681 682 683 684 685 686 687 688 689 690 691 692 693 694 695 696 697 698 699 700 701 702 703 704 705 706 707 708 709 710 711 712 713 714 715 716 717 718 719 720 721 722 723 724 725 726 727 728 729 730 731 732 733 734 735 736 737 738 739 740 741 742 743 744 745 746 747 748 749 750 751 752 753 754 755 756 757 758 759 760 761 762 763 764 765 766 767 768 769 770 771 772 773 774 775 776 777 778 779 780 781 782 783 784 785 786 787 788 789 790 791 792 793 794 795 796 797 798 799 800 801 802 803 804 805 806 807 808 809 810 811 812 813 814 815 816 817 818 819 820 821 822 823 824 825 826 827 828 829 830 831 832 833 834 835 836 837 838 839 840 841 842 843 844 845 846 847 848 849 850 851 852 853 854 855 856 857 858 859 860 861 862 863 864 865 866 867 868 869 870 871 872 873 874 875 876 877 878 879 880 881 882 883 884 885 886 887 888 889 890 891 892 893 894 895 896 897 898 899 900 901 902 903 904 905 906 907 908 909 910 911 912 913 914 915 916 917 918 919 920 921 922 923 924 925 926 927 928 929 930 931 932 933 934 935 936 937 938 939 940 941 942 943 944 945 946 947 948 949 950 951 952 953 954 955 956 957 958 959 960 961 962 963 964 965 966 967 968 969 970 971 972 973 974 975 976 977 978 979 980 981 982 983 984 985 986 987 988 989 990 991 992 993 994 995 996 997 998 999 1000

水曜日　く杏、風紀検査を受ける

「うちらが最後ってひどくないですか、やませんせー!」

「あたしらいつつもさいごやん、1組から5組だし。」

「おまえらが一番遅刻率が高いからだ!」

、  
なんでえー、なんでええー、なんでえー、、んでー、、ー、、

なんでーっ、あたしいいつつ?!?!

てかこの中にいる(?!)(ってっ、と、はっ、、?!

さっきのむっさくるしいもんもと座ってる姿も見られたってこと  
っっ??!!?!?!

のおおおおー!?!?!?!?!?!?!?!

もっ

優雅に、

お上品に、

気品ある、

体操座りをー、、

じゃ、な、くっ！

なんか、

なんか、

なんか、

顔が上げられないわー！ー！ー！ー！っ！ー！ー！ー！

てか

おしえてくれないなら、

どこをどうむけばいいのかわからないじゃない！ー！

、、、、、、、、、。

とりあえず、

家に帰って学年名簿を漁って  
誰か検討つけないと、、！

、、、、、。

てか

いますぐ知りたー！ー！ー！ー！いつつ！！！！！

いま！

すぐにつ！！！！

職員室に名簿があつたかしら？？？？

掃除時間に漁る？？？！！

いやでももしあたしの知らない人だったら、？？？

いやいや、あたしと話したことある人じゃないと、！

まさか、

まさかまさかまさか

あたしが一人惚れされるなんてことは、っ！！きやー！！

！っつ！！！！！

「佐井田さんー！どうぞー！、っ！」

「、、、、、。。」

「って、、、、なんかだいじょうぶ？？？なんかさっきよりも丸まってる気が、、」



マルマツテイル???

!!!!!!!!!!

たいへんーーーーん!!!!

座り直し!

座り直し!!

「、、、、佐井田さん、、、、えつーと、?、、早く行かないと、  
?」

「、、そつか!」

「!、、さ、さ井田さん?」

『体操座り』という座り方は、

気品も何も

んなもんなかったわーーーーーっつ!!!!!!

ちよつと足をそろえて横に流して、と、、、

「、、、、。。佐井田さん、、ね?ほんと、はやくいかないと、  
。結構あいつ待つのきら、」

ん？

あいつ？

「あいつ？」

「うん、あいつ、」

えーと、指差すさきは、

「原田さん！」

「そう、原田さん、！じゃなくて原田さんには今度ある英語のたい  
かいつて、っ……！うあああっつ……！！！！忘れてたああ  
ああ……っ……は、ら、だ、さああ……」

……。

いっちまったよ、

はあ、

なんだこれ。







（十数秒待っただけじゃん！！、乙女は立ち上がるのにも時間がかかるのよ！！恋・さ・れ・て・い・る乙女は特に！！！！ゆうがくに立ち上がらなくちゃいけないんだからっつ！！！！って、さっきどうやってあたし立ち上がったかしら???まさか』どおっこいしょ、『なんていってないわよね???いってないよね!!!???)

てか、

この人、

他人前ではこれ、、、?この態度、、、これを通してるとか、、、。

にしてもこわすぎ。

風紀委員ってなめられるからかしら、、、???

にしてもやりすぎ。

にしても、ほんと

開かなすぎーっつ（鞆）（焦）！！！！！！

あ、

開いた!!!

「ぎゅぎゅん」。

じゅ。

ゝゝゝゝゝゝ。

ゝゝゝゝゝゝ。

ゝゝゝゝゝゝ。

てかさつきからずっと

まつげのながさがかくにんできるこんなきょりでおんなのこのかは  
んをのぞいていたのかしらこのひとは。

いったいなんにんの？

おんなのこを??????





「(、、、、)

あんたがぶつ壊したくせに。」

「(言葉遣いが悪い、(鞆の鍵の不具合のため、一点減点。」

「!!!!(あんたっ————っ!!!!)」

「不具合だから。(、その言葉、(不具合、早く直すように。

(てか、そう、自転車だけど、放課後俺が見に行くから。、、、、昼  
休み見に行こうとか考えてたけど、いけてないだろ、どうせ。」

あっ!!!そっいえば!!!

( ) ものすごいむかつくけども。(

昼休みのすつがくのテストの、

「5点だろ。」

お礼を、、、、

って、

れ?????

「、へ?」



「かえる!?!」

「(、、、、、自転車直ってるかわかんないし、泊まってけよ。)」

「、、、、。帰る!」

そっちの意味じゃなかったんだけど、、、、。(注:杏:クラ  
スへ戻る(かえる))

「、、、あんなにひとりじゃ食えないし、。」

「、、、、、、。帰る!」

「、、、、、しょうがないな、。」

「せんせ!?!」

「!?!」

「佐井田さん、」

、、、化粧品持ってます。」

「……！」

は、

はい~~~~~???!……!

「、デイトールの口紅。」

あ、

それ、

新色のやつー!

雑誌で見たー……

今度の誕生日に買ってもらうとおもって

て、！！

佐井田杏！！！！

あなた、

香谷さんに

は・め・ら・れ・て・るわよっし！！！！！！！！

「佐井田。」

「！！！！、はい！！」

はい、

なんですよ、やませんせ。

「放課後、反省文な。」

ぎゃっつー！！！

ちよっ！！

職権ラン用—————っつー！！……！

「ちよっと、！……！」

「おつかれ、佐井田さん。」

、、、、（先生方からの『本日2回目』の手厚いご指導、  
いってらっしゃーい

、、、、いや4時間目も間に合っとなさそうだし、、、、

3（さん）（回田？？）「

か————た————にいい————っつー！……！



あたし、

こんなことでいいのかしら？

ガチャガチャガチャ、

でも

まだ自転車直ってないらしいし、

『泊まっていけ』って言うってたのも、直ってないのが  
なんとなく分かってたのかしら、、、？

てか

どんだけ壊われてんだあたしのチャリ。

、

いちお



考えてくれてんのよね？  
彼は。

でも、

でも——

なにか噛み合わないような——？

「また、考えごとか？」

「へ？、」

「なんか、うっ、

いつも、

「ぼーっとしてるよな。」

「、、、、、、。」

「人のこと言えないんじゃない?？」

ケーキ、スクランブルエッグ、ポトフ、スコーン、ホットドッグ、フルーツ盛り合わせ、コーンスープ、コンソメスープ、シチュー、サラダ、バゲット、クリチー、、、、

「明らかに作りすぎだし!!!二人じゃ食べきれない!!!」

「杏なら全部いけるだろ。」

「あつつ!!!、っだっからっっっっっ!!!」

「この前学食で『カツカレー親子丼』食ってたじゃん。」

「つつ!!!!!!!」

「あのとーきーは、朝ごはんたべてなかったしっ!!!たいくでめっ  
ちやおなががすいててっ、!!!!」

「じゃあ、な、くつつっ!!!!!!!」

「じゃなく?？」

「じゃあなーくーてー……」

「て?？」

「あーっ!？」

なんで、

なんで、

いつの間、……!!

『下の名前』 杏。とかっ!?!?! よんぞんのみ~~~~~  
っ!?!?!?!

、、、、。

「てか、  
、、

出かけてい？」

「だめだ。

先生にばれてんだよ。

、、、  
買い物なら行くなら、代わりに行くって。  
、、、

てか

何しにいくんだよ？」

こわいこわいこわい！！

「す、凄まないでよ！」

なんかこの人、  
機嫌がわるいと、

怖いのよねー、、、。

「で、何しに行くんだ？？」

「えつーと、」

「話逸らすなよ。」

「！ー！」

あーんーたーはー！ー！すぐそーらーすーくせにー！ーっっ！

「はあ、

別に怒ってるわけじゃない、

っ、

心配なんだよ

「！！！！」

！！急に態度を軟化させないでよ、

ああ！！もっっ！！

「

べりー。

「ん？

べりー？

「、、

ラズベリーの、」

「ラズベリーじゃないぞ、俺の持ってた口紅、」

「口紅じゃなくてっつ、！」

「?」

「お風呂の、」

「ふる?」

「————、、、、。

家人の所有物を勝手に使い、かつそれを買に行かせるなんてどうかと思うけど、

実質の家人は香谷くんのおばあさん、なわけだし。

この際問題ないよね

うん、

仕方ないよね、

、、

ごめん。

「ラズベリーの入浴剤を買ってきて下さい。」

「、、

にゅーよくざい?なんでまた、」

「かってきてください。」

「、、、」

分かったよ。じゃあルメリ、

「ロフトで買ってきてください。」

「、、、」

ロフト??近所のスーパーで、

「ろふとでかってきてください。」「、、、」。

分かったよ、ちゃんと鍵しめとけよ。」

「、、、」

はい。。。」

「じゃ、飯の前に行ってきます。」「行ってらっしゃい。」

「、、、」

いってきます。」

ボタン。

、、、。

、、、。







「やつは普段使ってるやつと同じじゃ、」「ち、ちがいますっ!!」

「、、、

とりあえず、似てるから使ってみたら。はい。」

あたしはこんなごうきゅーひんは使わないっよ!!……!!

「あと、これ。」

「、、、え。

デイトルの口紅………っっっ!!……!!  
わたしの来月の誕生日プレゼント………っ!!……!!

でもこれって、!

「母親のじゃないからな。」

じゃないのなら、、、、

「別に他の女の子が使った後のとかでもない。」

「、、、じゃないのならっ!!……!!

「俺のじゃねーよっ!!」

、、

父親の仕事の関係でもらったんだ。母さんは若すぎる色だっって使えないみたいだし、

、、、、

てかさつきから

「目だけで感情訴えるのやめろ。」

「……………」

「

いいの？もらって。「いいよ。誰も使わないし。」

「」

えっと、

じゃあ、

お言葉に甘えて、

いただきます。」

「うん。」

「」

「ありがとうね。」

「うん。」

この色好きなんだ――――

なんだっけ？

ちょっとオレンジがかったる――

この色は――――

、

何色だっけ？

「あつ――」

てか、

お金――！

お金払うよつ――！――！

ちよつ、香谷くん？！

か――た――に――く――ん――っ？――！――」

木曜日

7：35――――

『遅刻しないよう、俺が後でかぎ閉めてできます。7：40までには出るように。』

うんざーからー………（なんじゃこりやー）………

言われなくても、準備できてるっつうの………

バゲットもスコーンもコーンスープも食らってやったの………

………

てか

今日はあたしに鍵預けないってことは、

じてんしゃ

今日

しあがるの？

一時間目〜生物〜

「今日はこの前の宿題プリントの復習をする。お前らぜんぜん理解してない。」

げ、この前の遅れて出したプリント???

えっっ

て、

あたしの、

配られない？

「あつ、佐井田、

、

すまん、

お前の

職員室の棚に置いてきた。」

「、、、、

いえ、取ってきます。」

風

じゅーいっ

こんな晴天なんて久しぶり。

ほんとにつゆあけしたのかな？

このまま梅雨明けしたら

来週からは衣替えだな、、、

ん、

6組は、

体育？？



だれもない、

いや、

いる——、

あれは——？

机につぶして、

香谷くん？

まさか、

遅刻??

いや、

サボリ?!

ちょっと一言言っ  
てやらないと、、!

、

カツカツ、

カツカツ、

カツツ

、  
、  
、  
、  
、  
、  
、  
、  
、  
、

あれ？  
香谷くんて

こんなちっさかったっけ？？

、  
、  
、  
、  
、  
、  
、  
、  
、  
、

黒の学ランが、  
重々しい。

その時の香谷くんにわたしは声をかけることが出来なかった。

1年後のもしもし話、佐井田さん、お詣りする（前書き）

本当の番外編です！

「1年後のもしもし話」佐井田さん、お詣りする

（あーっ）

のど乾いた。

1月2日今日の最低気温、1。

天気は曇りのち晴れ。

風向きは北北西。

えっー、

ごほん、

えー、、

なんだってこんなこんなアツ、

じゃなかった、

寒い日に、、

こんなところだ、

そう、今私は、

家からチャリで20分の神社の前にいる。

「数学の模試、どう？」

「今、採点中。ああっ！ココも違うっつ、！！」

「明日は？」

「明日??」

明日は2007年度から2011年度の国語の過去問解く!!」

「、、、そう。過去問PCに送ろうか？」

「いい、田辺先生にもらったから。香谷くんは??」「宮田神社にお詣りに行くよ。」

「宮田神社？」

「そう。」

菅和良道里の縁の地らしいよ。」

「そうなんだ、、ご祈願しに」

「行った方がいいよね、じゃあ11:00にそこで。また明日。」

「うん、またあした」

カキカキカキ、、

、、、、、、

ん？

また

あした？？

「香谷くん!!?」

いつ

いないっ!!!!!!!!!!



ちよっ?!

まっ?!

ナニソレっ?!それって!!

それって……っ?!?!?!

というわけで

(昨日終わるはずの)2008年以降の数学の模試は全くできていない。

2007も微妙か。いや、というか、香谷くんはほんとに社会科見学に行きたいだけなのかも。

高橋くんによると、日本史でセンターは受けよう(ちなみに普通理系は地理専攻で、保険で現代史を受ける。)なんて言っているらしい、

歴史好き。

いや、オタク。

近所に、（いや、香谷くん家からは2時間以上かかるか、）に菅和良道里ゆかりの神社があるのに、それを見逃すわけにはいかないといったところか。

「携帯番号も知らないし、」

アドレスも知らない。

聞かれたことはない。

ので、  
聞かない。

、  
、  
、  
、  
、

ああ、寒い。

連絡をいれる手段がないからここまで来てしまった、

断じて、

断じてー、

「てかあたしには国語の模試を解くという課題があったのよっ!!」

ちなみに彼の志望校合格率A、私は、

「昨日でやっとB、か、」

不安が残る、。

、っ、そうだ！！

わたしには『夢一輪、一輪ほどのなんとか、』などとうっとりしているおたくに付き合う時間など全く、！

「ちなみにそれ、菅和良道里じゃないし、嵐雪だよ。」

「分かっているわよ」

図星を言われても顔に出さないでいられるくらいには、付き合いは長い。

「、、、ちなみに最初は『夢』じゃなくて、『む(う)め』、、、、」  
そして一度も香谷くんにくぐうの音を出させられないほどに私の知識は浅い、、。。

てか

ムードもへったくれない、、

、、

『むーん』っ？

いやいやいやいやっ！…んなのぜんぜんいらぬしっ！…！…！

「てかだいじょうぶ？？」

「へ？」

「顔が赤い、」

えっ?!?!?!

「来たときから、」

えええー！っっ?!?!?!?!

何度もざばざばと手を冷ました後、  
もとい、

清めた後、

神殿の前に立つ。

てかよく知ってたわね、宮田神社のこと、。

今は、いや、今日私は他の参拝客誰ひとり見ていない。――実際に教室2個分の大きさしかない小さな神社だし。

昨日の元日は地元の人が訪れたのであろう、地酒とお賽銭が何枚かあるだけだ、。

ちらつと横を垣間見る、  
が、

もう手―あわせてお祈りしてるし！

ここで先に『なんてお祈りする？』なんて、



へ？

「なんで？」

「俺も」大受けるからさ。」

「うそ。」

「うそじゃないよ。」

「、、、、、自分で祈ればいいじゃない。」

あっー！！

あんたは、どーしてそーゆーかわいくな

「だって俺、

「大も受けるし。」

「、、、、、

ごめん、

私帰る。」



その後なんだかんだで近くのデイリーヤマサキで肉まんを買って公園のベンチで一緒に食べるといふベタなシチュエーションを経験したにも関わらず、

宮田神社が実は『縁結びの神様』と杏が知るのはさらに一年先のこと。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6634m/>

---

佐井田さんと香谷くんの一週間

2012年1月2日00時50分発行